

「点検 十分なのか」

高浜原発水漏れ 住民ら不安も

備。原因究明や対策に時間がかかれば、再稼働工程に影響が出る可能性もある。大阪大の宮崎慶次名誉教

授(原子力工学)は「1次冷却水の浄化設備は循環する水を浄化するフィルターがあるため放射性物質がた

まわりやすい場所、そこから漏れた可能性も考えられる。もっと慎重に作業を進めてもらいたい」と語る。

同県小浜市に暮らし、「原子力発電に反対する福井県民会議」代表委員を務める中島哲演さん(73)は「再稼働ありきの前のめりな姿勢がトラブルにつながるのではないかと、十分な点検や整備がなされているのかを再度問われている。再稼働した3号機も心配でならぬ」と語った。

高浜4号機は1月末に再稼働した3号機と同様に、ウランとプルトニウムを混ぜたMOX燃料を使う「プルサーマル発電」を予定している。京都市の環境保護団体代表アイリーン・美緒子・スミスさん(65)は「MOX燃料などの問題を抱える高浜3、4号機について国は再稼働を認めるべきではなかった。関電は警告を受け止め、立ち止まるべきだ」と話した。

関西電力が今月中の再稼働をめざして準備を進める高浜原発4号機(福井県高浜町)の原子炉補助建屋で、放射性物質を含む水たまりが見つかった。福井県は職員を現地に派遣した。地元関係者らには不安が広がった。▼1面参照

「まずは現場の状況がどうなっているのかを関西電力に確認していく段階だ。(再稼働のスケジュールに)どれぐらいの影響があるかは分かっていない」。

福井県原子力安全対策課の担当者はそう話した。関西電力によると、水漏れが確認されたのは1次冷却水を浄化する系統で原発の運転中は必ず使用する設

備。原因究明や対策に時間がかかれば、再稼働工程に影響が出る可能性もある。大阪大の宮崎慶次名誉教

授(原子力工学)は「1次冷却水の浄化設備は循環する水を浄化するフィルターがあるため放射性物質がた

まわりやすい場所、そこから漏れた可能性も考えられる。もっと慎重に作業を進めてもらいたい」と語る。

同県小浜市に暮らし、「原子力発電に反対する福井県民会議」代表委員を務める中島哲演さん(73)は「再稼働ありきの前のめりな姿勢がトラブルにつながるのではないかと、十分な点検や整備がなされているのかを再度問われている。再稼働した3号機も心配でならぬ」と語った。

高浜4号機は1月末に再稼働した3号機と同様に、ウランとプルトニウムを混ぜたMOX燃料を使う「プルサーマル発電」を予定している。京都市の環境保護団体代表アイリーン・美緒子・スミスさん(65)は「MOX燃料などの問題を抱える高浜3、4号機について国は再稼働を認めるべきではなかった。関電は警告を受け止め、立ち止まるべきだ」と話した。

一方、米ゼネラル・エレクトリック(GE)元原子力技術者の佐藤暁さんによれば、数年ぶりに再稼働する時などはトラブルは起きやすい傾向があるという。「驚きはないが、小さなトラブルでもおそろかにせず、気を張って準備しないといけない」と指摘した。